報道関係者各位
プレスリリース

No.BM261112-01
2026 年 11 月 12 日
株式会社リンク

日産証券株式会社が「ベアメール 迷惑メールスコアリング」を導入し、約半年で DMARC ポリシーを「reject」へ強化

～～プレミアムサポートと SPF ホスティングを活用し、送信環境の整備を推進～～

メールを確実に届けることを支援するサービス「ベアメール」を展開する株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 元治）は、日産証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：二家 英彰、以下日産証券）に採用された事例を公開しました。



（写真　IT 企画部 参事 前田氏）

「ベアメール 迷惑メールスコアリング」は、送信メールの健全性をチェックし、継続的なモニタリングを実現するサービスです。ユーザはテストメールを送信するだけで診断を受けることができ、

迷惑メールと判定されるリスク要因や、その改善策を確認することができます。DMARC 分析機能も備えており、DMARC レポートの可視化や解析、送信元 IP アドレス管理など、組織のメール送信環境を総合的に管理できます。

■導入前の課題

日産証券では、フィッシング詐欺やなりすましメールからお客さまを守り、安心して取引できる環境を提供するため、メールセキュリティの強化を進めていました。これまでも SPF や DKIM による送信ドメイン認証に対応していましたが、さらなる対策として、約半年で DMARC ポリシー（※1）を「reject」まで引き上げることを目指していました。

一方、当初は自社のメール送信環境を十分に把握できておらず、DMARC レポート（※2）の分析や送信元の確認、設定の見直しをどのように進めるべきかが課題となっていました。社内には DMARC に関する十分な知見がなかったため、専門家の支援を受けながら、必要な対応を着実に進められる体制が求められていました。

また、利用するメール送信サービスの増加に伴い、SPF レコードの DNS ルックアップ回数（※3）が上限の 10 回を超えており、今後のサービス追加も見据えた管理方法の見直しが必要でした。

※1 DMARC ポリシー：自社ドメインを差出人として使用したメールのうち、DMARC 認証に失敗したメールを受信側でどのように扱うかについて、ドメイン所有者が示す方針。「none（監視のみ）」「quarantine（隔離）」「reject（拒否）」の 3 種類がある。このうち「reject」が最も強力なポリシーで、認証に失敗したメールを受信拒否することにより、なりすましメール対策を強化できる。

※2 DMARC レポート：自社ドメインを差出人として使用したメールについて、送信元の情報や SPF・DKIM・DMARC の認証結果、受信側でどのように処理されたかなどをまとめたフィードバックレポート。

※3 DNS ルックアップ回数：ドメイン名に関する情報を取得するために、DNS への問い合わせを行う回数。SPF 認証では、DNS 参照を伴う評価の回数が 10 回までに制限されており、超過すると認証エラー（PermError）が発生する。

■導入後の効果

ベアメール 迷惑メールスコアリングの DMARC 分析機能を活用し、送信元の IP アドレスを一つひとつ確認しながら、送信環境の整理を進めました。また、プレミアムサポートで対応の優先順位や具体的な進め方についてアドバイスを受けることで、道筋が明確になり、取り組みをスムーズに進めることができました。その結果、サービス導入から約 3 ヵ月後の 2026 年 2 月頃に DMARC ポリシーを「quarantine」に設定し、同年 4 月には「reject」への引き上げを実現しました。

さらに、SPF レコードの DNS ルックアップ回数の上限超過への対策として、迷惑メールスコアリングのオプション機能である「SPF ホスティング」を導入しました。これにより、複数のメール送信サービスに関する SPF 設定を一元的に管理できる体制を整えました。

■本導入事例の詳細

https://baremail.jp/case_studies/41_nissan-sec.php

■日産証券株式会社　概要

企業名：日産証券株式会社

代表：代表取締役社長 二家 英彰

本社所在地：東京都中央区銀座 6-10-1 GINZA SIX 9F

事業内容：金融商品取引業、商品先物取引業

URL：https://www.nissan-sec.co.jp/

ベアメールについて

ベアメールは「メールを確実に届ける」ことを支援するサービスとして、メールの高速配信・到達率の改善を実現する「メールリレーサービス」と、迷惑メールになる可能性や原因を診断する「迷惑メールスコアリング」を提供しています。お客さまの環境や状況に応じて 2 つのサービスを組み合わせることで、メール配信に関する運用の手間を削減し、到達率の改善を実現します。

サービスの詳細は、https://baremail.jp/ をご覧ください。

株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼動台数を持つ専用ホスティング「at+link」、クラウド型ホスティング「リンク・ベアメタルクラウド」を軸として、9 年連続シェア第 1 位のクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」、セキュリティプラットフォームサービス「PCI DSS Ready Cloud」など、さまざまなサブスクリプション型サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2010 年 2 月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。事業の詳細は、https://www.link.co.jp/ をご覧ください。

★リンクが運営するメディアサイト

「最適なサービスで一歩先行く組織へ」ビジネスに伴走する**課題解決メディア『 LINK Watch! 』**

https://watch.link.co.jp/

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社イニシャル　大田、山﨑、長岡、亀田、乗鞍（株式会社リンク　PR 事務担当） TEL：03-5572-6316 / FAX：03-5572-6065 / Email：link-pr@vectorinc.co.jp